

## 令和4年度

### 白帆台学童保育クラブ連絡協議会 議事録(要旨)

会議日時 令和4年6月28日(火) 18:30～19:30

会 場 白帆台学童保育クラブ 学習室

出席委員 8名中7名

事務局 4名

#### 1. 開会あいさつ

- ・委嘱状交付
- ・会長、副会長の選出  
⇒会長 : 坪内委員  
副会長 : 一枚田委員

#### 2. 議件

##### 1. 令和4年度白帆台学童保育クラブの現状について (会議資料 p.4)

※委員からの主な質問・意見と事務局からの説明

(委 員) 学童の児童数について、今年度4月～5月においても減少傾向である。やはり上級生の児童が減少しているのか。学年ごとに推移を知りたい。

(事務局) 白帆台学童においては2年生が4人減、3年生が1人減、4年生が2人減、計7名減となっている。

(委 員) 新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者の負担が大きくなってきている。退会した児童について、家庭での保育者はいるのか。

(事務局) 学童の退会届に記載された退会理由では、「家で留守番ができるようになったため」「祖父母により、家庭保育が可能のため」といった内容が多い。

(委 員) 昨年度から今年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校で学級・学年閉鎖があった。このとき、学童ではどう対応したか。

(事務局) 小学校の対応に伴い、学童においても同様に学級・学年閉鎖を行った。

## 2. 令和4年度白帆台学童保育クラブの活動について（会議資料p.5）

### ※委員からの主な質問・意見と事務局からの説明

(委員) ジュニアボランティア体験教室について、大変良い活動だと思う。今回の体験教室は白帆台学童のものか、町内学童全体でこのような活動をしているのか。また、学童では、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮しながらどのように熱中症対策を行っているか知りたい。

(事務局) ジュニアボランティア体験教室について、例年、社会福祉協議会が2つの学童でそれぞれテーマを設定して実施している。今年度は白帆台学童での手話教室のほか、独り暮らしの高齢者に関するお話を聞き、そのような方々へ手作りのプレゼントを渡すといった活動を行う。

学童での熱中症対策について、小学校同様にエアコンを付けながらの換気、支援員から児童への水分補給の声かけ等を行っている。また万が一体調不良の児童が出た場合は、その保護者に速やかに連絡する。

(委員) 白帆台でのジュニアボランティア体験教室の内容の詳細を知りたい。

(事務局) まず講師の方から耳の不自由な生活に関するお話をいただき、その後参加者全員で、講師の方に教わりながら手話の体験を行う予定である。

(委員) 学童に通う児童は外出時間が長い。児童は登校時水筒を持参するが、それで水分は足りているか。水筒の中身を飲みきった場合はどうするのか。

(事務局) 児童の水分補給に関して、学童では常にお茶を用意している。水筒の中身を飲みきった児童には、学童で用意したお茶を継ぎ足して飲ませている。

(委員) 白帆台学童の活動予定は例年どのように決めるのか。

(事務局) 学童の活動のうち季節の行事については、例年学童で企画している。それに加えて父母会や外部の方からの企画提案があれば年中行事に加えている。

(委員) 次年度の学童の活動について協議会で話し合う場があれば良いと思う。

ジュニアボランティア体験教室について、3・4年生だけに参加を限定するのは、内容が良いだけに勿体なく感じる。また、聴覚障害以外の障害者のお話を聞く活動の企画等もあれば良いと思う。

(事務局) 次年度の学童の活動に関する協議会の開催については、今後の学童の運営のため、検討のうえ委員の皆様にご連絡する。

ジュニアボランティア体験教室の参加者の限定について、白帆台学童は児童

数が多いため、対象人数を絞らなければならなかったという事情もあったが、意見を参考にさせていただく。

(委員) 子どもを学童に通わせていた立場から、季節ごとの行事があることについてありがたく感じる。

その他、白帆台学童保育クラブの運営に関する父母会の意見について（会議資料 別紙）

※委員からの主な質問・意見と事務局からの説明

(委員) 白帆台学童での高学年の児童数はどうか。

(事務局) 現時点で4年生3人、5・6年生は0人である。

(委員) 高学年の児童は低学年の児童の面倒を見る様子はあるのか。

(事務局) 体育館遊び等で、3・4年生が率先して1・2年生の面倒を見てくれていることがある。

(委員) 内灘町の学童ではどのように父母会と意見交換をしているのか。

(事務局) 父母会と学童の支援員が都度連携を取り合い学童の運営を進めている。例えば白帆台学童では、夏休み中の児童の弁当について、父母会が市販弁当の購入をとりまとめ、学童支援員に連絡する等している。

(委員) 今回の父母会の意見書は、協議会で話し合う内容として捉えてよいか。

(事務局) 今回の意見書は、事務局としても、貴重な意見として参考にさせていただきたい。またこの意見について、委員の皆様から更なる意見等あれば是非この場でお話しいただきたい。それらの意見を参考に、学童の運営を進めていきたいと考える。

(委員) 提案①について、「お迎えが玄関対応となり児童の様子が分かりにくい」とあるが、気になることがあれば遠慮なく学童職員に聞けば良いのではないか。口頭で聞きにくいことがあれば、紙に書いて職員に渡し、職員から回答をもらう等やり方はあると考える。

(事務局) 玄関対応に至った経緯について、当時、家庭内感染により新型コロナウイルス感染症が児童や若い世代に広まり、年配の方が重症となっていたため、このような対応をとった。今後については、感染状況を見極めて対応していきたい。また学童について気になることがあれば、遠慮なく保護者の方から職員にお

話しいただきたい。逆に、学童保育中に児童に気になることがある際、職員から保護者の方にお伝えしている。

(委員) 提案②について、高学年になると児童には友達のネットワークが重要になり、学童でない友達と遊びたい、また家や公園で遊びたいといった欲求も出てくる。白帆台学童では5・6年生は0人だが、他学童ではどうか。

(事務局) 町内には、5・6年生がいる学童もある。しかし人数は0人～数人である。例年、高学年になるとスポーツ教室に通いたがったり、学童での時間制限が合わなくなったりして学童を辞めたがる傾向にある。辞める児童が一人居ると、その友達も辞めたがる。友達と自由に遊びたいという子どもの欲求は、昔も今もあるのだと思う。一方、親としては防犯の観点から預けたい思いがある。この課題については、町としても考えていくが、家庭内でも話しいただきたい。

(委員) 子どもの気持ちも尊重していく必要があると思う。その中で、行政による見回りの強化については可能か。朝に見回りをしているのは見かけるが、それを夕方にもしてほしい。児童が外で遊ぶ時間は18時頃までだと思うので、その頃に見回りをしてもらえれば、犯罪の抑止力になるのではないか。

(事務局) 白帆台地区・宮坂区にも自主防犯組織があり、それぞれ活動している。警察にも、地区の推進隊の方々にも見回りを依頼している。